

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保育事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	01	08	02
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	村山 智章				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保育課	意図	保育課の事務を効率よく実施する。
事業内容	保育課における一般事務臨時職員に対する賃金及び入所に係るシステムなどの事務経費を管理。			
事業開始から現在までの状況変化	土地区画整理事業による宅地造成が進むに連れ、子育て世帯の人口が急速に増加している中、保育のニーズも年々増加している。それに伴い、保育所も増加していることから入所に係る事務量も増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	正規保育課職員数	13	16	17	人	↑↑↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 保育所整備を進めていることから、入所児童が増加し、事務量はますます増加傾向にある。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		16,563,894	21,858,835	23,154,608				
事業費(b)(円)		15,618,444	18,727,885	20,023,258				
うち一般財源		15,618,444	18,727,885	19,848,258				
職員給与費(c)(円)		945,450	3,130,950	3,131,350				
人役・職員(人)			0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.55	0.65	0.65				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務量が増加しているため、事務処理の迅速化適正化に努める。	③取組における課題(Check)	保育需要の増大に伴い、関連事務量が急増しているが、さらに事務の効率化に取り組む必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	職員の増員や事務分担の見直しを行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	更なる事務分担の見直しをし、事務処理の迅速化適正化に努める。